



ひとなる



白川を愛し、たくましく心のあったかい子を育む美濃白川

観えの場・芽生えを培う場・やすらぎの場・広がり

卒園・卒業おめでとう!

保育園56名・小学校59名・中学校6名のみなさん、あと少して卒園・卒業です。みなさんが保育園や学校で残したものと、これからみなさんの後輩が大切に引き継いでいきます。よくがんばりました!

光の子保育園



年長組になるとお当番さんがお米とぎをします。冷たい朝も手を真っ赤にし頑張ります。お昼でみんな毎日美味しいごはんが食べられました。ありがとうございます!

白川保育園



給食の後に毎日、年長児が各部屋の床と廊下の雑巾かけをしました。雑巾を絞ることも上手になりました。その後は掃除の掃き掃除。1月から年中児に掃除の仕方を教えることも年長児の仕事でした。園はピカピカ!

白川北保育園



子ども達も、ワクワクキドキして楽しめる「わくわくでいっ! 1月は「かき氷作り」をしました。年長児が中心となり、考えや思いを出し合って遊びを小さい子へと伝へ、盛り上げてくれました。楽しかったね!

佐見保育園



給食後年長児は毎日廊下や保育室の床拭きをしてくれました。お昼で廊下や保育室はピカピカ! みんなで保育園を大切に、きれいにしてくれました。きんたろう組さんありがとうございます!

蘇原保育園



年長「ひまわり」組一名でした。それと、運動会や発表会、お昼ごっこ、地域との交流、床拭きなどの仕事を先頭に立ってやり遂げました。小さい組の憧れ、そして、頼りになる存在でした。読人(あきと)くん、ありがとうございます!

黒川保育園



友達の名前から言葉集めをして、僕たち・私たちにしか出来ないカルタを作りました。友達と意見を出し合い、考えて作ったカルタは、お別れ会の時にみんなでやってみようと思います。

蘇原小学校



蘇原小学校の財産のひとつに異年齢集団でのファミリー活動、低学年は上級生と共に活動、中学年は高学年に協力すると共に上級生が下級生を支えつつも温かい雰囲気の中で活動ができました。蘇原小の財産を立派に引き継ぐことができました。

佐見小学校



小中合同運動会の全校一輪車競技にて、5・6年生13名が大メリーゴーランドに挑戦しました。本番のギリギリまでなかなか成功しなかった大技を、全員が心を一つに完成させ、本番で観客や下級生に感動と憧れを与えることができました。

白川小学校



児童集会で、各委員会の委員長から今年度の振り返りと来年度への申し送りがされました。一つ一つやりきって卒業に向かう6年生と、その姿をじっとみつめる1〜5年生の様子からは、「白川小学校の宝物を伝えよう!」「次は自分たちが引き継ぐよ!」という決意が伝わってきました。

黒川小学校



黒川小学校では、各学年で8の字跳びに挑戦しています。6年生は、523回跳び、チャレンジスポーツに参画した学校の中で、岐阜県で1位となりました。他の学年も全て4位までに入るなど、積み重ねた努力が好成績につながりました。子どもたちの自信になるとともに、黒川小学校の特色ある活動の一つとなっています。

白川北小学校



「ハントタッチ集会」では、6年生から5年生への引継式を行いました。学年リーダーとして役割を立派にやりきり、歯みがき電卓書などの伝統を先輩達から受け継いで6年生に引き継いでいく6年生は、本当に青々とした姿です。

白川中学校



3年生全員が「史上最高の学年」の異議なく、様々な活動を見事やりきり誇りに満ちた1年間、「つなぐ会」で先輩・後輩の方に、高学年としての役割が存分に示しました。

黒川中学校



後輩に対して、何事も「姿で示す」ことを大切にしてきた3年生、黒川四科校の一つである合唱、表演等に打ち込み、自分たちでパート練習を曲がていく姿も、先輩の姿が後輩に確実に引き継がれました。

佐見中学校



3年生生活発表会での学年合唱、ICT活用の協同学習、公民館利用、後輩見守りの「授業・合唱・特別」の3つの伝承を自らの姿で示し、後輩に引き継がれました。

特集③

白川町の子どもたちの教育環境を考える

～義務教育学校について～

『子どもたちの教育環境を考える』の第3弾となりました。現在、各学校ごとの運営協議会を中心に、幅広く保護者や地域の方々よりご意見をいただいております。今後の生徒数減少については、前号にも紹介しましたが、かなり深刻な問題でもあります。今まで考えられた選択肢は

①現体制の維持 (どっぴげ生徒数が増えても、今のままの学校数を維持していく)

②学校の統合 (小学校同士が一緒になったり、中学校同士が一緒になったりする。小学校と中学校も一緒になることはない) でしたが、平成28年6月に学校教育法の改正で、小学校と中学校が一緒になる義務教育学校を設置してもよいとなりました。選択肢は①②に③義務教育学校の設置が加わりました。統合については、私たちが白川町でも既に進捗高みでイメージが持ちやすいですが、義務教育学校についてはあまりわかりません。そこで義務教育学校についての紹介をさせていただいています。①②③についてよく理解していただいた上で、皆さんのご意見をいただきたいと思っています。

義務教育学校とは? どのような仕組みですか?

白川小学校 白川中学校

白川学園(仮称) 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生 7年生 8年生 9年生

例)1例のように、いくつかの区切りが設けられ教育が可能になる。

義務教育学校とは? 校舎はどうなるのですか?

2通りのパターン

施設分離型 施設一体型

どちらかの学校を増改築

現在の校舎を利用

義務教育学校とは? 実際、白川町で考えた?

パターンは沢山ありますが、現実的なものは……

黒川小 黒川中 黒川学園

佐見小 佐見中 佐見学園

白川小 白川中 白川学園

白川小 白川中 白川学園

黒川小 黒川中 黒川学園

町内で考えられる学校

白川学園

小学校と中学校が一緒になり、小中一貫教育を実現。学校独自に教育課程を作成。

校舎は上記にあるように2通り。

町内で考えると様々なパターンが有りますが、現実的なものは少ないです。

義務教育学校とは? 設置により期待される教育的効果

- 1 地域に学校を築くことができる。
- 2 複式学級であっても複式授業をしない。
- 3 5年生以上は教科担任制が可能。学力向上につながる。
- 4 小中一貫教育(自由度の高いカリキュラム)
- 5 個々に応じた丁寧な指導(9年間通して) 途切れない支援
- 6 部活動の充実(小学校から中学生と練習)
- 7 小中学生の交流、中1キャンプの解消

義務教育学校とは? 設置・運営に伴う教育的課題

- 1 複式学級は解消できない。学級の人数は増えない。
- 2 人間関係の固定化。中1リセットができない。
- 3 小学校高学年のリーダー性の欠如。中学生のメリットは少。
- 4 一つの地区で設置すると、小中の統合はその地区は除外
- 5 一度設置すれば、9年以上は存続させたい(入学→卒業)。
- 6 義務教育学校自体の歴史が浅く、実績データが少ない。
- 7 児童生徒の転出入により、学習の未履修の可能性あり。

現在、岐阜県には2つの義務教育学校があります。白川町にある白川学園と羽島にある桑原学園です。いずれにしても教育的効果も教育的課題もあります。しかし、義務教育学校については深い歴史があるわけではないので、白川町の現状と照らし合わせながら考える必要があります。今までは、統合しかなかったものに、このように義務教育学校の設置が加わったことで、選択する環境が広がりました。子どもたちの見解と、3つの選択肢から、私たちが白川に住む大人が、子どもたちの学習・生活環境について、意見を出し合い、より良い環境を提供する責務があります。また、人口減少の歯止めについては、町政はもちろん地域の結束力と工夫で、私たち大人が必死になって考えていくものだと思います。

ご意見お待ちしております!

選択肢①②③について様々なご意見お待ちしています。電話・メールでも結構です。

【事務局】
白川町教育委員会
学校教育係
72-2317 (内399)
e-mail: hattori-takayoshi@town.shirakawa.lg.jp